

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま政治刷新中！

第50号

2018年7月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■福岡県総合防災訓練
■企業内保育所を視察

災害ボランティアティアにも参加

主体的な避難意識向上を

西日本を中心とした豪雨で福岡県内も大きな被害を受けました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

福岡県議会は県行政とともに被災地の復旧と復興に全力



国民民主党・県政クラブとして小川洋知事に要請書を提出＝2018年7月9日、県庁

を挙げて取り組んでいきます。私が所属する国民民主党・県政クラブとしても対策本部を設置。7月9日に小川洋知事と面会し、現場の実情を踏まえた要請書を提出しました。この中で、市町村とともに被災者の生活支援に全力を挙げることで、被害の全体像の把握と早急な復旧対策を求めました。

今回の大雨では地元でも避難勧告が出されました。古賀市内を回り、河川の増水や土砂災害などを警戒する中、粕屋北部消防本部や古賀市消防団の皆さんの活動はとて心強く思いました。あわせて、私からはインターネットを通じて、県の災害情報などを発信して最大の警戒を求めました。

県内の多くの市町村に大雨特別警報が出された際は、「主体的、自主的に避難してください。この際、高齢者や障がい者、子どもなど避難行動要支援者の皆さんと行動をとるにできるなど地域の中で支え合ってください」と発信しました。

私は前職の新聞記者時代から地域防災・減災体制の強化に取り組んできました。県議会でも自主防災組織の設立や避難行動要支援者の個別計画の策定、家庭や企業における備蓄などを促進する重要性を提起し、県の取り組みにつながっています。

こうした中、今回の豪雨災害であらためて痛感したのは、私たち一人一人が常に主体的に防災意識を持ち続けることの重要性です。浸水などの被害を予測するハザードマップを確認しておくこ

とはもちろん、自らが住む地域の中の緊急避難場所や避難所はどこなのか、災害の種類によって指定されていることを認識しておく必要があります。そして、いざという時は行政から出される避難準備情報や避難勧告、避難指示だけを判断材料にするのではなく、自らが直面している状況を踏まえて自主的に避難することが極めて重要です。

古賀市は2016年に「総合防災マップ」を作成し、市内全戸に配布しています。県議会の代表質問で知事にこれを示し、県内全域に広げる重要性を指摘した経緯もあります。お手元がない方はぜひ入手してください。古賀市のホームページからダウンロードができます。



家屋の浸水被害が大きかった久留米市や岡山県倉敷市に入り、ボランティアの支援活動に参加する作業などを手伝いました。



田辺の政治活動を連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter [アカウント→ @tanabe_kazuki](https://twitter.com/tanabe_kazuki)

福岡県総合防災訓練を大規模に開催 — 古賀・玄望園地区で

消防団など90機関1300人参加 住民参加型の要支援者避難も

福岡県総合防災訓練が6月3日、古賀市筵内の玄望園地区をメイン会場に開催されました。県、古賀市、新宮町、粕屋北部消防本部、古賀市・新宮町の両消防団、警察、自衛隊など90機関1300人が参加。防災は公助だけでなく、自助、共助が重要との意識から、小野校区の皆さんには自力避難が困難な避難行動要支援者の避難訓練を行いました。

会場では、住民による倒壊家屋などからの捜索・



小川洋知事と倒壊家屋における捜索・救出救助訓練を視察
=2018年6月3日

高齢者のペット飼育支援体制を構築へ — 6月定例会本会議で成果

福岡県議会6月定例会で、就任以来連続29回目となる本会議での質問に臨みました。テーマの一つが、高齢者のペットの適正飼育を支援する体制の構築。今回、私からの提案を知事に受け止めていただき、県として、地域包括ケアシステムの主体（介護関係団体、県・市町村行政の介護部門・生活衛生部門など）や外部の民間団体との連携を検討する協議が始まることになりました。

高齢な飼主の体調不良や入院といった健康上の理由で飼育が困難になったり、十分に世話ができないことによる悪臭等で周辺環境が悪化したりするケースが発生しています。県に寄せられた相談は▽2015年度107件▽16年度165件▽17年度178件。さらに、高齢者からの犬や猫の引取り頭数は▽15年度70頭▽16年度94頭▽17年度124頭——といずれも増加しています。

今後、高齢者世帯がさらに増加します。ペットを適正に飼育するためには、必要な知識の習得や病院搬送など緊急時のペット保護、結果として飼育できなくなった場合の受け入れ先の確保など様々な対応について、飼育の早い段階で予防的に当事者と一緒に課題を整理し、共有しておくことが重要です。この実現には、高齢者と日常的に接するケアマネジャーら介護職だけでなく、市町村が整備を進める地域包括ケアシステムの中で行政が部門横断的に取り組み、さらに民間団体とも連携する必要があります。

そこで、私から介護職、県や市町村の生活衛生部門や地域包括ケアシステムを担当する介護部門、さらにはNPOなどの外部組織と確実に連携できる体制を県内各地で構築するため、早急に協議を始めることを提案。知事は「効果的な連携と支援のあり方について検討を進める」との考えを初めて示しました。



救出救助、消防団による水防工法、高層建物からの救出救助、新宮町・相島からのヘリコプターによる搬送、愛護動物の同行避難、ボランティア本部の設置・運営などの訓練を実施し、関係機関の連携も確認しました。地域防災力の向上は私の最重要テーマのひとつであり、引き続きしっかりと取り組んでいきます。

西部技研さんが企業内保育所を開設！

世界に誇る空調機器技術を持つ地元・古賀市の「西部技研」さんが企業内保育所「はにかむほいくえん」を開設。園の名前の由来は、同社がハンカムローターを使った空調設備の先進的な製造企業であることから。



海外にも展開しながら、

社員一人一人の子育てなどの生活もしっかりと支える。先進的な取り組みが注目を集め、これまでも国から表彰されるなどしています。こうした誰もが生きがいをを持って働くことができる環境をどんどん広げていきたいですね。

なお、2016年度から始まった「企業主導型保育事業」は全国で2597施設、このうち福岡県では221施設と東京、大阪に次ぐ多さになっています（今年3月31日現在）。企業が自ら運営したり、保育事業者に委託することも可能で、複数企業による共同設置もできます。従業員以外の子どもが利用する定員の枠を「地域枠」として設定することも可能になっています。

田辺かずき事務所からのお知らせ

【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があってこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただいています。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書(1~2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。事務所(092-692-8510)までご連絡ください。



<田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業(高51回)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
- 厚生労働環境委員会(～13年)
- 国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)



- 2013年 新社会推進商工委員会(～15年)
- 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会(～15年)
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長(～17年)

- 【所属】福岡県議会・農林水産委員会
- 同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
- 同・タイ友好議員連盟事務局長
- 同・スポーツ議員連盟幹事
- 国民民主党全国青年委員長
- 国民民主党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
- 福中・福高同窓会顧問
- 古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】会社員の妻、11歳の長男、8歳の長女
- 古賀東小学校PTCA前会長 (PTCA=PTA+地域のC)